2014 年度　審判員中央研修会

報告者：加藤　重亮、飯島　浩

※赤字部分は久高が加筆

日時：2014 年 11 月 1 日（土）13:00～11 月 2 日（日）
会場：1 日目 相模原けやき会館 5 F セミナールーム
　　2 日目 相模原市小山小学校体育館
講師：前田 裕史（奈良県）中野 英隆（山口県）奥野 知美（奈良県）斉藤 和則（茨城県）

テーマ：審判員の育成を目的
　　中央研修会の伝達　⇒　浸透
　　基本をしっかり身に付ける事　⇒　やる。やり続ける。
　　基本を見直して、指導する。

1 日目：座学

中野競技委員長の講話

1．基本指針
- 基本に忠実であれ
- 基本なくして応用無し

2．普遍的概念
- 今、目の前で起きた事をルールブック通りに処理をする。
- 我流は絶対に指示されない。
- 安定した判断基準を持つ。

3．重点事項
- 徹底して無駄をそぎ落とす。
- 絶対的視野を確保する。
- 迅速で確実な判定を行う。

実技統一事項の周知・説明

＊タイムが掛かっている状態で、再度協議が必要とされる場合の各審判員の動作の解説
＊公認審判員「B 級審判員」として出来なければ（やらなければ）いけない動作の解説

ワークショップ

＊実技研修で行う『連続複合動作』の設問設定および各指導担当ポジションにおける

役割分担の連携確認

2 日目：実技研修

実技研修（ワークショップ）で設定した『連続複合動作』をグループ毎に行う。

★指導時における、着眼点（観点）等の再確認および洗い出し、ならびに実技研修を受けての改善事項の提示と摺り合わせの実施

実技統一事項

1）オフィシャルタイムアウト継続中に、再度協議が必要と判断した場合の動作

副審、線審ともにタイムの要求動作にてセンターサークルに行く。

『タイム』コールは不要。

「タイムの要求」

【副審】…手の動作（主審と同様）と同時に笛を吹き鳴らし、走って
センターサークル中央まで行く。

【線審】…動作（旗を扇状に振りながら）と同時に笛を吹き鳴らし、走って
センターサークル中央まで行く。

【ＣＭ】…笛の後、「主審」とコール

＊動作をした審判員以外の各審判員は速やかに集合する事！

・ボールの位置を把握しながらコートに入っているか？
・笛、動作が同時に出来てコートに入っているか？
・センターサークルまで全力疾走出来ているか？
・止まってから動作を解除しているか？

２）ファール発生に伴い、アシストキャッチ不成立となり、「アウト」を確定させる場合の手順

ファール適用の後、「アウト」の動作、ボールの支配権の指示

＊ルールブック第８０６条、ファールが適用された時点で、最初に当たったプレイヤーは、アウトとする。

《手順例》

「ピーッ！」「〇番ファール名」「アシスト不成立、〇番アウト」ボールの支配権の指示。

タイムイン。「アウトの笛は不要」
アシスト不成立の場合のみ、「アシスト不成立、〇番アウト」とコールするものとする。

『文言例』
「東京５番オーバーライン・アシスト不成立・東京３番アウト」
「東京７番オーバーライン・アシスト不成立・東京７番アウト」

３）主審及び副審のコートに正対して行う動作とプレイヤーに向けて行う動作
■アウトとファール名動作の無いものは、プレイヤーに向けて行う。
　EX：アウトプレイ
■ファール動作、ファール名動作のあるもの、アウトの取消（セーフ）はコートに正対して行う。
　EX:オーバーライン・フォールディング

説明は、オフィシャルに向けて正対する。全プレイヤーにわかるように。
主審側のセンターサークルの後方

ヘッドアタック:動作はファールを犯したプレイヤーに向けて行う。
頭部付近は、まず、安全確認を優先する。アウトの取消にならないように。

連続複合動作（主審）

B 級が出来ていなくてはいけない。
複合動作の重要なポイント
①常にボールの位置を意識し、ボールから目を離さない。
　（支配権の指示の後、定位置に戻る時）
②タイムイン時、ボールアップを確認。守備側の準備の確認。タイムイン動作
③動作のあるファール名・動作　　コートに正対して動作しているか？
　動作のないファール　　プレーヤーに向けて正対しているか？

１）「〇番アウト」～ダブルタッチ～支配権指示～タイムインまで

POINT：各動作が統一基本動作通りであるか？
　　タイムイン時両チームの体制を確認しているか？

【着眼点】
①どこでファールが確定されたか？を見せる意識
②一つ一つの動作を確実に行う。
　支配権の指示の時、手のひらの向き・腕の高さを注意し支配権のあるエリアを指す。
③支配権の指示後定位置に戻る時は、ボールから目を離さない意識を持つ。
④タイムイン時は、ボールを持っているプレイヤーが確実に停止し、ボールアップが出来ているか？両チームとも準備が出来ているか？を確認する。
⑤ダブルタッチ、タイムイン動作が確実に統一基本動作通りにできているか？
　ダブルタッチ　⇒　動作を作ってから「ダブルタッチ」コール

２）「〇番アウト」の後、即線審から攻撃側がオーバーラインのジャッジを受けて
　　（アウト～ファール確定～タイムインまで）

POINT：線審からのオーバーラインを確認してファールを確定させているか？
　　アウトの取消のセーフは統一基本動作（コートに正対）通りか？
　　アウト、オーバーライン、支配権の指示、タイムインの各動作ができているか？

【着眼点】
①セーフ動作は基本動作通りか？　形を作ってからのコール
②一つ一つの動作を確実に行う。
　支配権の指示の時、手のひらの向き・腕の高さを注意し支配権のあるエリアを指す。
③支配権の指示後定位置に戻る時は、ボールから目を離さない意識を持つ。
④タイムイン時は、ボールを持っているプレイヤーが確実に停止し、ボールアップが出来ているか？両チームとも準備が出来ているか？を確認する。
⑤オーバーライン、タイムイン動作が確実に統一基本動作通りにできているか？

３）左コート内野からのアタックが頭部付近に当たった。安全確認を行い、アウトとなった時の処理　（オフィシャルタイムアウト～タイムインまで）

POINT:・オフィシャルタイムアウトを宣言してプレイヤーを確実に座らせているか？
・頭部付近に投球を受けたプレイヤーの状態を自ら確認し、その後監督を招集
・監督がコートに出ていくのを確認したか？
ベンチに戻るまで。指示が無いように確認する。
（監督はベンチを離れてはいけない。⇒　責任を持って見届ける。）
・副審と協議したか？
・報告時の立ち位置、内容は正しいか？
・オフィシャルタイムアウト、アウト、支配権の指示、タイムイン動作が確実に出来ているか？

【着眼点】
①オフィシャルタイムアウトを宣言して、直ちにコートに入り、
動作と声でプレイヤーを座らせる。⇒　副審と話をしない。
②報告内容は、P129 を参照
③アウト確定後、当該プレイヤーが外野に移動したことを確認し、
その後支配権の指示を行う。　⇒　移動中にしない。
④支配権の指示の時､手のひらの向き･腕の高さを注意し支配権のあるエリアを指す。
⑤支配権の指示後ボールから目を離さない。意識を持つ。
⑥タイムイン時止まってボールアップしているか？（８１５条）
両チームが準備出来ているか？
⑦一つ一つの動作を確実に行う。

プレイヤーの安全確認が最優先事項。必ず監督にしてもらう。（P90）